



会議レポート

ASA/MA99

IEEE (The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.) が主催する第1回ASA99 (First International Symposium on Agent Systems and Applications) と第3回MA99 (Third International Symposium on Mobile Agents) との合同国際シンポジウムが、第3回DWT A99 (The Third Dartmouth Workshop on Transportable Agents) と併合して、1999年10月3日から6日の日程で米国カリフォルニア州バームスプリングスにて開催された。モビリティ、アプリケーションとJava、システム、および通信に関する120編の投稿論文のうち、22のregular paperと11のposter paperが採択され、20%の採択率であった。ASA/MAは、マルチエージェントシステム、インテリジェントエージェント、モバイルエージェントなどの領域を結集させたシンポジウムであり、パフォーマンスや信頼性などシステムに関する技術から協調・管理・コーディネーション・e-commerce・HCI・オントロジー・societies・理論・可視化などインテリジェントマルチエージェントシステムに関する分野全般を対象としている。なお、本シンポジウムおよびワークショップ全体のプログラムは次のURLにて公開されている。

- ASA/MA99 : <URL: <http://www.genmagic.com/asa/>>
- DWT A99 : <URL: <http://agent.cs.dartmouth.edu/workshop/>>

本シンポジウムは、2つの招待講演、6つのチュートリアル、7つのテクニカルセッションとポスターセッションから構成された。招待講演では、Sun Microsystems社Jim Waldo博士による“Agents in the Internet Age”, ObjectSpace社Graham Glass氏による“e-Services — Creating an Agent-friendly World”が行われた。

チュートリアルでは、次の6つのトラックが行われた。

- Mobile Agents: Issues and Challenges for Management Systems
- Agent Communication Languages
- Coordination Technologies for Internet Agents
- Understanding Code Mobility
- Agents and Complex Adaptive Systems
- Agent Patterns

テクニカルセッションでは、Languages and Tools, Performance, Planning and Scheduling, Security, Networking and Communications, Distributed and Mobile Services, Agent Intelligenceの論文発表が行われた。また、ポスターセッションでは、システムのデモンストレーションや展示者と参加者の質疑応答やシステムの解説などが行われた。

最終日には、DWT A99が開催された。DWT Aは、1996年からモバイルエージェントの技術的側面における課題について議論が交わされてきたワークショップである。本年のワークショップでは、モバイルエージェントシステムのスケーラビリティとフォールトトレランスをテーマとして、次の5人

の専門家によりプレゼンテーションが行われ、参加者との議論が交わされた。

- Models for analyzing fault-tolerant and scalable mobile code
Gian Pietro Picco (Politecnico di Milano, Italy)
- Fault-tolerance issues for communicating mobile agents
Keith Marzullo (University of California at San Diego)
- Naming and services for scalable and fault-tolerant mobile-agent systems
Geoff Arnold (Sun Microsystems)
- Network management in scalable and fault-tolerant mobile-agent systems
Ken Vastola (Rensselaer Polytechnic Institute)
- Capstone discussion
Jim Hendler (University of Maryland at College Park and DARPA)

ASA/MA99の論文集は、“Proceedings of First International Symposium on Agent Systems and Applications, Third International Symposium on Mobile Agents” (ISBN0-7695-0340-3) として出版されている。また、2000年の国際シンポジウムASA/MA2000は、9月13日から15日の日程でスイスのチューリッヒで開催されることが決まっており、詳細が次のURLで公開されている。

- <URL: <http://www.inf.ethz.ch/ASA-MA/>>
- <URL: <http://www.cs.dartmouth.edu/ASA-MA/>>

報告者は、Apple社が提案したナレッジナビゲータやヒューレット・パッカード社の提案した「1995」というエージェント技術に夢と興味を持って久しい。ASA/MA99にて第一線のエージェント技術のエンジニアたちの前で初めての研究発表を行う機会を得て、関西国際空港からロサンゼルス空港経由バームスプリングス空港、そしてシンポジウム開催地へと1人で出向いた。発表を控えて緊張する中、発表準備を参加者の方々に手伝っていただけたことや、教授やエンジニアたちが発表後にコメントをくださったことに感謝するとともに、ASA/MA99のオーガナイザに感謝します。

(江谷典子/奈良先端科学技術大学院大学)

MT Summit VII 参加報告

Machine Translation Summit (MT Summit) VIIは、1999年9月13日から17日にかけて、シンガポール、KENT RIDGE DIGITAL LABS (KRDL) で開催された。参加者は、約250名 (うち日本からの参加者75名) であった。

そもそも、MT Summitは、機械翻訳の研究者、開発者、ユーザ、政策立案者が集い、現状の技術的な問題点やアプリケーションについて議論し合う場として、隔年で開催されている会議である。今回は、7回目の開催で、アジア太平洋機械翻訳協会 (AAMT) の主催で行われた。これまで、AAMT、ヨーロッパ機械翻訳協会 (EAMT)、アメリカ機械翻訳協会 (AMTA) が持ち回りで主催しており、AAMTが主催となったのは、3度目である。

◆ 13日 :

機械翻訳についてのチュートリアルが行われた。基礎的な翻訳の概要から、現状の技術、アプリケーション、そして、最新の開発動向についての解説があり、研究者、開発者からの視点だけでなく、ユーザからの視点を踏まえた、MT Summit本来の趣旨に則った解説がなされた。